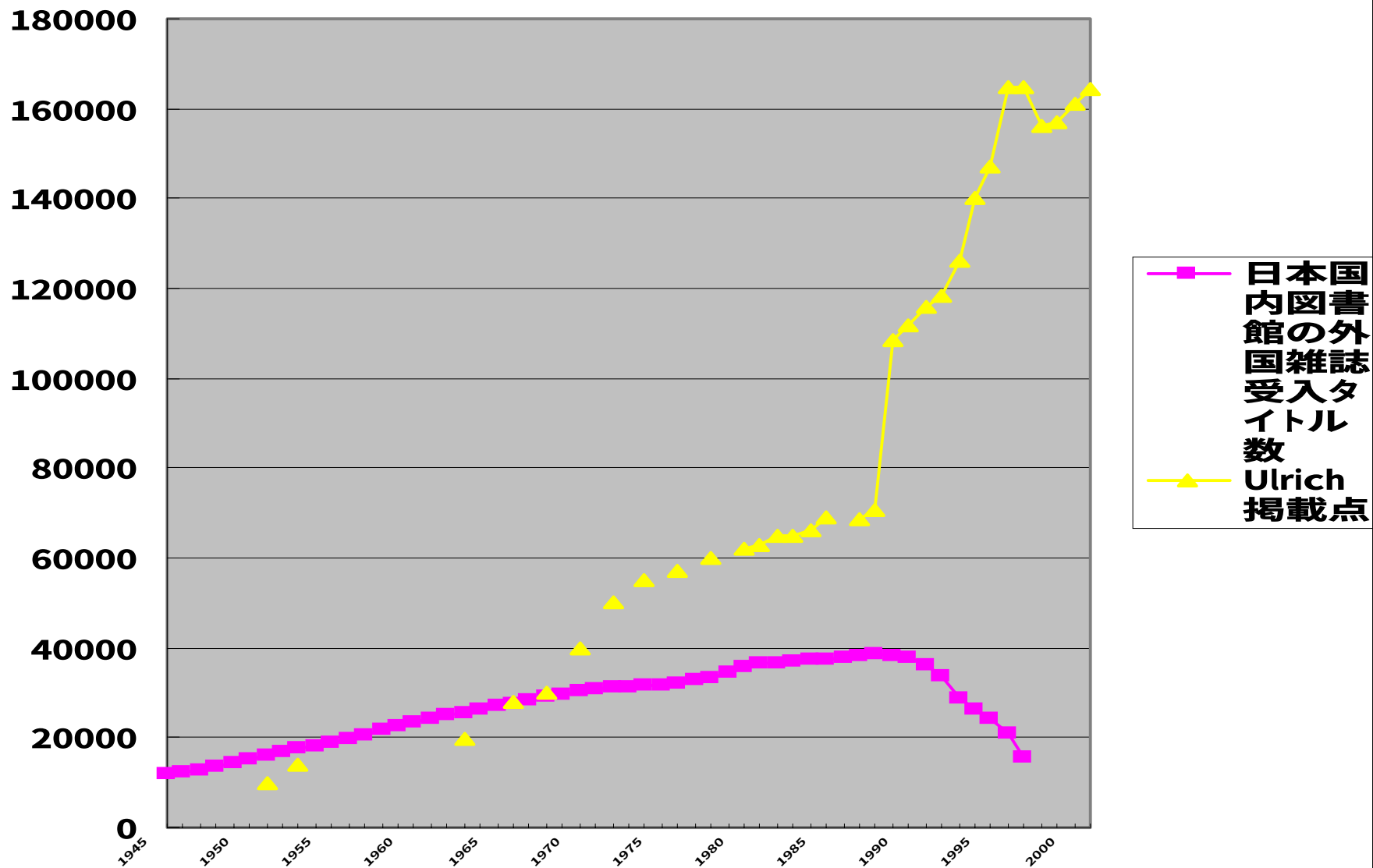


**電子ジャーナルの急激な発展の及
ぼす諸問題：
大学図書館の立場から**

**土屋俊
(千葉大学)**

日本国内図書館の外国雑誌受入タイトル数と
Ulrich掲載点数



影響の範囲

- (とりあえず) 図書館サイドから：
 - 物品購入から使用許諾へ
 - タイトルごと予約購読からデータベース (パッケージ) へ
 - 保存からパーペチュアル・アクセスへ
 - 配架からポータルへ
 - 入館記録 (?) から利用統計へ
 - 資金力の重要性→寡占化の進行
 - 「コンソーシアム」の重要性の増大

物品購入から使用許諾へ

- 物品としての印刷冊子体ジャーナル
 - 契約は物品購入
 - 管理は図書に準じる
- サービス提供にかかわる許諾
 - 前払いは可能？
 - ものがないときに、何を管理するのか？
- Walk in 利用？
- ILL利用？
- 教材利用？

タイトルごと予約購読からデータベース (パッケージ) へ

- (日本の場合) 研究者が研究予算の運用として購入雑誌を決定
- 図書館はタイトルについて、予約契約を締結
- 出版者が自社刊行雑誌を全体として提供
- 利用者としても意味がある
- Big Deal 論争
 - Value for Moneyが大きい (賛成)
 - 囲い込みに過ぎない (反対)

ある大学における電子ジャーナル (SD) の利用状況 (2000年9月-2001年4月)

アクセス回数	タイトル数	(割合)	内訳			
			購読誌	(割合)	非購読誌	(割合)
1001回以上	27	2.3%	26	2.2%	1	0.1%
101-1000回	369	30.9%	276	23.1%	93	7.8%
11-100回	525	44.0%	234	19.6%	291	24.4%
6-10回	88	7.4%	21	1.8%	67	5.6%
5回	19	1.6%	6	0.5%	13	1.1%
4回	25	2.1%	9	0.8%	16	1.3%
3回	21	1.8%	2	0.2%	19	1.6%
2回	24	2.0%	5	0.4%	19	1.6%
1回	39	3.3%	7	0.6%	32	2.7%
0回	57	4.8%	7	0.6%	50	4.2%
合計	1194	100.0%	593	49.7%	601	50.3%

保存からパーペチュアル・アクセスへ

- いままでは、「保存」に意味があった
- 契約は役務契約なので、これからは契約できめなければならない
 - 来年は使えるのか (出版者次第、HighWire方式)
 - 永久に使えるのか
 - 会社や学会はつぶれないのか (だれが将来を保証?)
 - ネットワークは安定か

配架からポータルへ

- 雑誌の管理における図書館の役割
- 従来は、保存、分類、管理など
- これからは、利用支援の側面が重要
 - 情報リテラシー教育
 - 「横断検索」
 - 高度なレファレンスへの要求 (検索技術)
 - 非雑誌一次情報との連携
 - メタデータレベルでの統合
 - 教育との連携

入館記録(?)から利用統計へ

- 従来は、匿名化された統計が原則
- 個人プロフィールを追跡可能な統計が可能に
 - 受益者負担？
 - 実は誰も読んでいない？
 - 学生への対応
 - 出版者が情報を独占？
- 予算との関連が明確に
 - では、Pay Per View？

資金力の重要性→寡占化の進行

- 電子化は、コスト減を図れるが、
- 初期投資が必要
- 当面の印刷・電子2面対応の必要

→資本規模の必要性

(したがって、日本の出版者には不可能)

国際的寡占化の進行が促進

Elsevier

Kluwer

対抗勢力としてのSPARCなど

「コンソーシアム」の重要性の増大

- 従来型コンソーシアムを超えた展開の必要性
 - 資金投下方式の柔軟性
 - 中央資金方式の効率性
 - 交渉方式の柔軟化
- 現実のコンソーシアム形成の困難性
 - 大学の個別事情
 - 出版者との対応の複雑さ (どれが得かが不明)
 - コミュニケーションギャップ
 - 社内でも

各国のコンソーシアム

	ドイツ	台湾	韓国	オーストラリア
名称	Nord Rhein Westfalen Consortium	CONCERT	KERIS	CAUL
参加機関数	24	179 公私立大学図書館 研究機関	152 大学図書館	59 大学図書館 政府研究組織 第三機関
タイトル	3800 有料 2,200 無料 1,600			
契約会社	計4社	計21社 (83データベース)	計60データベース以上	計32データベース
	Elsevier Springer Kluwer Academic Press Wiley、Lipincottは準備中	Academic Press Elsevier IEEE Springer EBSCO	IEEE EBSCO OCLC ECO ACM	Academic Press JBC ACS Blackwell Science Wiley
予算規模	USD 3,999,807 (SDのみ)	USD 8,000,000	USD 10,600,000	USD 11,600,000
資金	政府資金	政府資金及び会員	政府資金	会員

当面 (どのくらいかわからないが) の課題

- 当面の予算的措置
 - コンソーシアム
 - アーカイブ・ポータル
- 擬似コンソーシアムの設立
 - 国立大学図書館協議体方式 (?)
- 学術コミュニケーションについての図書館と研究者の連携
 - 図書館による電子出版
 - キャンパスにおける研究者の理解 (予算面、理念面)
- 国際的連携
 - SPARCの国際化 (本年秋からSPARC Europe)
 - ISCFの展開 (本年10月から)